

江西省の九江青陽腔白兔記（1）

福 満 正 博

I. はじめに

青陽腔は中国安徽省の青陽に発する劇種であるのに、江西省の九江の名前を冠する青陽腔に違和感を覚える人もいると思われる。そのあたりから事情を説明しなければならない。中国の演劇史上重要な劇種である青陽腔は、明代の池州府の青陽に起源するものである。しかし、現在の青陽県にはその姿を留めていないのである。私が今年安徽省池州市青陽県の文化局に直接赴いて確認したところ、現地では古戲台すらほとんど残されていない状態であった。青陽腔というのは、その資料ですらなかなか見ることができないだけでなく、現実に上演形態を見るなどということになると、我々外国人にとっては不可能なことと思われていた。わずかに残された、青陽腔を上演する地域として、西隣の江西省九江市の湖口県と都昌県があることは知られていた。

ところが幸いなことに、私は2010年に九江市で開催された九江青陽腔国際学術会議に出席することができ、その際青陽腔の上演を僅かながらも見ることができた。それだけでなく、青陽腔の研究で著名な九江学院の劉春江教授から九江の青陽腔の「白兔記」の抄本（油印本）の複印を提供してもらうことができた。（尚、前稿「劉知遠諸宮調と戲曲白兔記の研究と、安徽省の青陽腔白兔記の可能性」『明治大学教養論集』462号の第89頁 V. 地方戯曲の「浙江省九江青陽腔白兔記」は、「江西省九江青陽腔白兔記」の誤りである。）

従来青陽腔について、日本の様な外国の研究者にとっては、ほとんど二次的資料としか言えないようなものしか見ることはできなかった。特に九江の青陽腔については、それがどのようなものか、本当に青陽腔なのかどうかも検証しようもなかった。そこで劉春江教授から提供された九江青陽腔の抄本「白兔記」を活字化して公開することは、日本を含めた外国で中国の戯曲を研究する者にとって重要な学術的価値を持つことと思われた。本稿は、九江青陽腔とその「白兔記」の事情の簡単な説明と、「白兔記」の活字化を目的とした。しかし、活字化は完成できず、まだ一部にとどまるので、(1)とした。

Ⅱ. 九江青陽腔とその「白兔記」について

まず弋陽腔から説明しなければならない。弋陽腔の資料は、これまでの拙論に何回も出したことがあるのでここでは三つ出すことにする。まず、魏良輔の『南詞引正』に、次のようにある。

- 一、腔有数様、紛紜不類。各芳風氣所限，有昆山、海鹽、余姚、杭州、弋陽。自徽州、江西、福建俱作弋陽腔。永樂間，雲貴二省皆作之会唱者頗入耳。惟崑山為正声，乃唐玄宗時，黃幡綽所傳。元朝有顧堅者。雖離崑山三十里，居千墩，精于南辞，善作古賦。拈郭帖木兒聞其善歌，屢招不屈。与楊鉄笛、顧阿瑛、倪元鎮為友，自号風月散人。其著有『陶真野集』十卷、『風月散人樂府』八卷行于世。善發南曲之奥，故国初有崑山腔之稱。

この記述によれば、明代の初めには昆山腔、海鹽腔、余姚腔、杭州腔などの様々な劇種と並んで弋陽腔も成立していた。また特に弋陽腔は、安徽、江西、福建の三つの地域にわたって流行し、永樂年間（一四〇三～一四二四）

には、既に雲南、貴州省まで広がっていたというのである。また一五世紀の初めには西南の雲南、貴州まで弋陽腔が伝播してあちこちで歌声が聞かれた。したがって、当然その通路として湖南、湖北、四川などを通過したものと思われる。

次は戯曲家としても有名な湯顯祖の（一五五〇～一六一七）の「宜黄県戯神清源師廟記」からの引用である。

此道有南北。南則崑山之次為海鹽、吳浙音也。其体局静好，以拍為之節。江以西弋陽，其節以鼓，其節誼。至嘉靖而弋陽之調絶，變為樂平，為徽青陽。我宜黄譚大司馬綸聞而惡之。自喜得治兵於浙，以浙人帰教其郷子弟，能為海鹽声。大司馬死二十余年矣，食其技者殆千余人。聚而諗於予曰，吾属以此養老長幼長世，而清源祖師無祠不可。予問倘以大司馬從祀乎。曰不敢，止以田竇二將軍配食也。予額之・・・・・

（『湯顯祖詩文集』卷三十四）

この中で、湯顯祖は弋陽腔の消息にふれ、嘉靖ごろには「調絶」したと述べている。そして樂平腔や、安徽の青陽腔が起ったことを述べている。湯顯祖の言う「調絶」を、どのように解釈するかについては諸説があるが、ここでは取り上げない。明初にすでに弋陽腔と同類の「樂平腔」や「青陽腔」が新しく勃興してきたことは、確認できる。

この弋陽腔の特徴は様々であるが、ここでは著名な戯曲理論家の李漁の『閒情偶寄』（音律第三）の説を取り上げる。

詞曲中音律之壞，壞於南西廂。凡有作者，當以之為戒，不當取之為法。非止音律，文芸亦然。請詳言之。填詞除雜劇不論，止論全本，其文字之佳、音律之妙，未有過於北西廂者。自南本一出，遂變極佳者為極不佳，極妙者為極不妙。推其初意，亦有可原，不過因北本為詞曲之豪，人人贊

羨、但可被之管弦，不便奏諸場上，但宜於弋陽、四平等俗優，不便強施於崑調，以係北曲而非南曲也。茲請先言其故。北曲一折，止隸一人。雖有数人在場，其曲止出一口，從無互歌、迭詠之事。弋陽、四平等腔，字多音少，一洩而尽。又有一人啓口，数人接腔者，名為一人，實出衆口。故演北西廂甚易。崑調悠長，一字可抵数字，每唱一曲，又必一人始之，一人終之，無可助一臂者。以長江、大河之全曲，而專責一人，即有銅喉、鉄齒，其能勝此重任乎。此北本雖佳，吳音不能奏也。

李漁は、北曲が四折を一人で歌うので、非常に難しいことを訴えている。しかし、弋陽腔のような場合は、実際には一人の歌に合わせて多くの人が合唱するので、実際の上演が比較的容易になることを指摘している。一人が歌い衆人が和する弋陽腔の特徴が、取り上げられている。このような様式を、「幫腔」と呼んで、青陽腔、弋陽腔の特色としてよく知られている。

さて明代の嘉靖ごろから、現在の青陽県（明代では池州府の所轄であった）で流行し始めた青陽腔であるが、二十世紀にはその上演は全くと言っていいほど忘れ去られていた。ところが1950年代になって、山西省万泉県など各地で再発見されたようである。特に江西省の九江市の都昌県、湖口県では、大量の劇本の抄本が発見された。その間の事情について、「從江西都昌，湖口高腔看明代的青陽腔」（流沙，北萱，隼人，『戯曲研究』1957年第4期）は次のように記している。

湖口県や都昌県は江西省の鄱陽湖の北東に位置し、安徽省の西南の各県とも隣り合っている。この地の農民は、演劇好きのものが多く、職業的劇団員でもないのに、勉強していた。戯曲は伝奇の劇本で、文章自体とても良いものだと思われていた。人々が学ぶ目的は、実は自ら劇を上演することではなく、文章の学習だったのである。子供を学校にやれない家は、何年もかけて子供に戯曲の文章を勉強させた。子供たちは、曲

分を写したり口に出して歌ったりして、教養を深めた。その為、青陽腔はこの地で深く根を張り、どの家でも戯曲の劇本の抄本を持っていた。二つの県で現在に残る老劇団員は二三十人が残っているにすぎない。しかし曲文を歌うだけならば、多くの人が歌えるのである。建国前には、湖口県では専門の劇団があり、都昌県では半職業的であった。・・・・・・劇団員は十に分かれていた。それは末・淨・生・旦・丑・外・小・貼・夫・雑であり、この他に小・旦を助ける「二肩」という役柄もあった。劇団員は脚本のことを「種子」と言っていた。

1956年の9月に開かれた江西省の劇目検討会議の場で、都昌県文化会館が老劇団員から集めた劇本とその抄本が続々と集められた。その後も、続いた。両県の劇団員たちはまとまり模範上演を行った。収集された劇本と、実際の上演から次のような劇目が残っていることがわかった。

全本

三国志：7本

結桃園（桃園記）

青梅会（射鹿記）

三請賢（草盧記）

走麦城（荊州記）

獻連杯（連環記）

古城記（古城記）

収四郎（草盧記）

岳飛：3本

奪秋魁（奪秋魁）

金牌譜

陰陽界

目連：7本

全本

征東 (白袍記)

征西 (金貂記)

三元坊 (三元記)

龍鳳劍 (鹿台記)

全十義 (十義記)

仙姫配 (織錦記)

香球記 (香球記)

瓦盆記 (瓦盆記)

白鸚哥 (鸚鵡記)

紅袍記 (白兔記)

黄金印 (金印記)

忠義殿 (宝剣記)

贈玉杯 (双杯記)

双拝相 (緑袍記)

吐絨記 (吐絨記)

琵琶記 (琵琶記)

金鎖記 (金鎖記)

胡蝶夢 (胡蝶夢)

台卿集 (尋親記)

紅梅閣 (紅梅記)

彩楼記 (彩楼記)

万里侯 (投筆記)

鳳凰山 (百花記)

三跳澗 (投唐記)

下河東 (飛龍伝)

単出

・・・・・・・・・・

このように、九江市で大量の劇本とその抄本が、劇の上演と共に発見されたのである。貴重な発見であった。しかし、その後のこの地の演劇文化・文化財の保護・保存は、それほど順調ではなかったと思われる。文化大革命があったからである。しかし、劉春江氏の『湖口青陽腔』（江西人民出版社、2008年）によれば、全本は、21本の劇目が保存されているようである。先に引用した50年代の記録では、27本記録されているので、比較的少なかったと言えるかもしれない。その保存された劇本の中に、九江青陽腔の「白兔記」があったのである。

Ⅲ. 九江の青陽腔「白兔記」について

九江の青陽腔「白兔記」は、検討が終わっていないので、十分なことは述べられない。しかし、学術的にどのような意味があるかについて、途中であるが現段階で簡単に述べることにしたい。

次に引用した場所は、「掃地」の場の、生（主人公）の登場詩である。

身傍人門愧不才，衣衫藍縷自傷懷。堂前掃地人輕視，尽是輸錢換得來。

「富春堂」本第8折（『古本戲曲叢刊』初集）

身傍人門愧不才，衣衫藍縷自傷懷。堂前掃地人輕賤，尽是輸錢換得來。

安徽省青陽腔（『青陽腔戲文三種』民俗曲芸叢書，1999年）

自恨生來悔不才，衣衫藍縷好傷懷。堂前掃地人輕賤，只為賭錢到此來。

江西省九江青陽腔（殷武煥油印本，1979年）

身傍人門愧不才，衣衫藍縷自傷懷。降馬掃地人輕賤，皆因輸錢換得來。

『川劇伝統劇本彙編』（四川人民出版社，1958年）

富春堂本は、明末の出版である。安徽省青陽腔本は、本来は清末同治年間の抄本である。江西青陽腔は、江西省九江で収集された1979年の油印本である。『川劇伝統劇本彙編』は、1950年代に収集された四川省の川劇の高腔の劇本である。これら4本は、量的には異なっている文章の方が、はるかに多い。相互に直接的な関係は、無いはずである。それにもかかわらず、一致する曲文が残っているのである。特に安徽本と、江西九江本の関係は深いようである。安徽本が青陽腔であれば、江西九江本も青陽腔であることは、間違いないことのように思われる。それはともかく、これら4本を並べてみると、安徽省から四川省まで、深い関係があることを示している。弋陽腔（青陽腔）が、明代の初期の永楽年間（1403～1424）に安徽省から雲南・貴州にまで広がっていたとする魏良輔の『南詞引正』の記述が正しいことを、六百年後の現在でも、手に取るように見ることができる。

ところがこれだけではない。江西九江青陽腔の「白兔記」には、劉知遠と三娘が結婚する時に、「撤帳」（結婚の床入りの儀式）を行う場面がある。

丑：一洒風調雨順。二洒国泰民安，三洒五男二女，四洒七子団円。洒帳東，好箇洒帳東，東辺牆頭一顆葱。新人不抬頭，想是怕口公。・・・

この「撤帳」の場面は、成化本「白兔記」にも出ているのである。

淨：〔念云〕一洒帳東，三姐招箇窮老公。堂前前行礼数，拜狗散烏龍。・・・洒帳前，双双一对並頭蓮，生下五男並二女，七子保団円，三箇会喫酒，・・・

両者に影響関係があるかどうか、今のところ判定は控える。

ともかく、青陽腔の研究にとっても、「白兔記」の研究から見ても、江西



九江青陽腔は、学術的にも十分に価値のあるものと思われるのである。読者の理解の一助にと思い、本稿の解説の終わりに2010年の九江青陽腔の上演場面の写真を示す。

以下は、江西九江青陽腔「白兔記」の第八出まで活字化したものである。

紅袍（白兔記）

一出 登厂（場）

[正生、丑]

生：[上，引]平生志气吐虹霓，不负青云万里。[白]少年豪强不遇时，几时腰下佩金鱼，男儿立志安天下，必扫千军盖世奇。小生，家住徐州沛县沙陀村人氏姓刘名高字志远，不幸父母早丧流落江湖，这也不需细表，今日天气晴和，不免转至酒楼，一行一出二三里，烟村四五家，楼台六七座，八九十枝花。来此已是，酒家哪里？

丑：[上，白]来多有多，钟敲钟，手敲手。原来是个叫鸡公。

生：绣衣公。

丑：不错，是个绣衣公。相公请进，相公敢是来吃酒？

生：正是。报酒名上来。

丑：葡萄绿，竹叶青，状元红。

生：拿状元红来。

丑：读书之人，喜的是状元红。伙计，拿状元红来。相公，待我敬一杯。

生：有劳。[介]多少酒钱？

丑：三钱银子。

生：我这有五钱银子，登在流水帐上面，下次还来吃酒。

丑：是的。

生：清水困蛟龙。

丑：寄在我店家。

生：连饮三杯酒。

丑：相公你可醉？

生：沉醉如东风。

丑：少送了。

生：少陪了。

[下]

二出 賭錢

[小生、付、正生]

小:[白] 天出对, 精光棍。

付: 賭博场中我二人。

小: 我乃千里眼。

付: 我乃顺风耳。

全白: 今日天气晴和, 不免将賭錢招牌挂起, 大賭三千贯, 小賭五百文。

生:[上] 一生生来好賭錢, 贏得錢来也枉然, 二位大哥在此做什么?

小、付: 在此要錢。

生: 怎样要法?

小、付: 看招牌。

生: 大賭三十贯, 小賭五百文。

小、付: 相公, 大賭还是小賭?

生: 小賭一场。待我好下头来。喂我的头, 二位下坠。

小、付: 我这里一串錢, 每人五百一把抓。

生: 照着大摆对。

小、付: 相公何不大賭一场?

生: 未曾帶得稍来。

小、付: 你头帶得也是稍, 身上穿的也是稍。

生: 衣帽也算得稍?

小、付: 算得稍。

生: 相公与你大賭一场。待我脱将下来。

付: 相公, 我交道, 你青龙会上要錢。三岁孩儿赢了霸王的錢, 无许耍赖。输了老婆贴个枕头, 输了香火贴个祠堂, 到了手。

生：脱下来不赌。

付：怎么不赌？

生：我还未曾动手，你就讲到了手。

小、付：我是讲衣服袖子套了手。

生：是这等讲。

小、付：重新老头。喂，我的头，相公下坠。

生：有什么下坠？衣帽一半，钱一把抓。

小：相公做两把抓。

生：相公喜的一颗顶。

付：你瞧了，哎，五子一色。

生：二位大哥请回。

小、付：做什么？

生：一串钱你拿去，衣帽把还我。

付：歇到你的。方才讲过了，青龙会上耍钱，无许耍赖。三岁孩儿赢了霸王的钱，无许耍赖。输了老婆贴个枕头，输了香火贴个祠堂。喂，你个二龙戏水。喂，你个双凤朝阳。

小：伙计走，他不晓得赌钱。

生：这是么要紧。待我转至马王庙中一行。行行出出，出出行行，来此已是，待我进去。神灵在上，弟子各宜恭敬。云堂有笔，待我题诗一首。

游玩江湖有数秋，风波浪里占鳌头。

若得贵人来提拔，犹如平步上瀛洲。

刘高题。那厢散愿的来了，待我庙后躲避一时。

[下]

三出 完愿

[外、二生]

二:[上, 白] 扫地恐伤蝼蚁命, 爱惜飞蛾纱罩灯。我乃马王庙老道是矣。今乃三六九日, 恐有施主前来, 在此俟候。

外:[上] 为了女儿事, 前来叩神灵。

二: 员外, 到了, 敲钟擂鼓。

外: 神灵在上, 弟子呵。[吹介]

二: 员外, 灯烛光明, 又是一年吉庆, 请至后堂吃茶。

外: 这里有诗句一首, 待我看来, 游玩江湖有数秋, 风波浪里占鳌头, 若得贵人来提拔, 犹如平步上瀛洲。此人好大的口气。

内: 请员外吃茶。

外: 来了。

[下]

四出 盗鸡

生:[上, 白] 一日不害羞, 三餐饱悠悠。此前有一福鸡, 待我盗去。老道, 散愿的来了。

二: 徒弟, 殿上有一福鸡, 你可收拾?

内: 未曾收拾。

二: 你这汉子, 员外拿来散愿的福鸡, 你为何盗去?

生: 是我拿来散愿的。

二: 你可叫得应, 就是你拿来散愿的?

生: 讲定了。

二: 讲定了。

生：鸡，我刘高日后若有好处，大叫一声。[叫介]

二：这熟鸡他也叫得应。你叫得应，我也叫得应。

生：你就叫来。

二：鸡我老道日后若有好处，大叫一声，鸡祖宗、鸡老子。叫不应，招打。[打介]

外：[上，白] 你二人为何厮闹？

二：员外有所不知，你拿来的福鸡他盗得去了。

外：他拿来的也是你的，我拿来的也是你的。

二：员外，他是你家何人？

外：是我家外甥。

二：恼恨员外太无知，带个外甥盗福鸡。若不看马王菩萨面，我就要骂你。

外：骂我何来？

二：骂你这老扒灰。

外：老施主。

生：有劳员外大救。

外：你这汉子，家住哪里，姓甚名谁？

生：家住徐州，沛县人氏，姓刘名高字志远。

外：前面诗句，可是你题的？

生：乃是小人题的。

外：为何一身落薄？

生：只因好赌身穷。

外：下次不可，你可不转到我家一行？

生：萍水相逢，怎好打扰。

外：这也无防。我今将你来提拔。

生：免的一身落无泥。

外：随我来。

五出 带妇

夫：[上]（白）员外去散凡心，未见转回程

外：[上]，生：[上]

外：[白] 散愿转回归心中多欢喜，少散一时。

夫：员外回来了。

外：回来了。

夫：员外今年散愿如何。

外：今年散愿灯烛光明，又是一年吉庆。

夫：员外为何这等欢悦？

外：非我这等欢悦。因我在马王庙中见一汉子，生得美貌堂堂。是我带得来了。

夫：今在哪里？

外：[白] 在门外。

夫：何不请来相见？

外：有请刘大哥。

争：□□□□

生[上] 员外这是何人？

外：是我安人。

生：安人这厢有礼。

夫：罢了。何曾过午？

生：未曾。

夫：后堂茶饭。

生：谢过安人。

夫：员外带他回来，则甚？

外：我看此人日后必有好处，三弟能识相法，接他过堂观看一相。若有好处，
留在身边。洪信做一帮手。若无好处，一餐午饭打发他回去。

夫：此计甚好。

外：有请三员外过堂。

争：有请三员外过堂。

末：〔上〕兄弟分居有数年，将身来到画堂前，兄长这厢有礼。

外、夫：这厢（？）请坐。

末：告坐。兄长今年完愿如何？

外：灯烛光明，又是一年吉庆〔笑介〕。

末：兄长为何这等喜欢？

外：非我这等喜悦。我在马王庙中见一汉子，生得美貌堂堂，因此把他带来了。

末：那人姓甚名谁？

外：姓刘名高字志远。特请贤弟观看一相。若无好处，一餐午饭打发回去。

末：今在哪里？

外：在后堂，有请刘大哥。

争：有请刘大哥。

生：〔上〕员外这是何人？

外：乃是我三弟。

生：三员外这厢有礼。

末：罢了。转至后面。

生：谢过三员外。

外：三弟要真看。

末：〔笑介〕

外：三弟为何发笑？

末：我看此人龙行虎步，必有好处。恭喜兄弟。第一贵客前来。

外：不知他的力量如何？

末：〔曰〕试他力量倒也不难。我家一红鬃铁马走在卧龙岗上，数年无人收服。

命他前去收来。

外：此计甚好。

末：有请刘大哥。

生：员外何事？

末：鞭韁（繮）一事你可熟悉。

生：略知一二。

末：兄长有一红宗（鬃）铁马走在卧龙岗，数年无人收服。命你前去收来。

生：员外我只收马，不看马。

末：只要你收马，不要你看马。

生：要备挽手一用。

末：挽手在此。收服骅骝，莫惮劳。

外：今后不可叫刘高。

夫：若还收得此马转。

生：化作红尘万里高。

末：嫂嫂请至后面，你我转至口场一行。

[下]

六出 收马

生：[曰]

自幼生来志气高，全凭武艺逞英豪。

若还收得此马转，方显沛县一刘高。

俺刘高，领了员外命，收服红宗铁马，。待我转至高坡一望。此马乃是青
龙兽下凡。待我讨下吉兆。马，我刘高日后若有好处，大叫一声（唱介）（马
叫）收马敢惮劳，待我靠马打睡一时

末、外：[上]

末 [曰] 刘高美少年。

外：容貌真堪羨。

末：那个孽畜眼也红了，唤刘高醒来。

外：[全] 刘大哥醒来。

生：何人盗马来？啊，原来是员外到了。

外、末：[全] 将马收了。

生：领命、马来。

末：此人好力量。要想什么好主意，将他留下。

外：多托他田地种。

末：一非种田之人。

外：多把银子与他做买卖。

末：二非买卖之人。

外：那无计可留。

末：可惜也可惜。

外：可惜什么？

末：可惜我老三未曾养得有女儿。

外：依你之见，难道将女儿许配与他。

末：正是。

外：恐舅嫂不肯。

末：那我有个主意。

外：有何主意？

末：我二人假意厮打起来，嫂嫂乃是贤德之人，必定前来劝解，讲来讲去，讲到这个人头上来了。

外：此计虽好，试试看。

末：兄长可在家中。

外：三弟来了。进来请坐。

末：谢坐。

外：三弟到来何事？

末：为秋娘之事。

外：要等洪信回来。

末：他一年不回。

外：就要等一年。

末：他十年不回。

外：也要等十年。

末：那就等不得。

外：等不得也要等。

末：我就打死这老不死的。

夫：〔上〕你二人为何厮闹。

末：人到你家来茶也没有一杯。

夫：那我拿来。

末：请回。不是这个茶。

夫：什么茶？

末：花饼茶。

夫：三叔，我家又男婚女嫁哪有花饼茶。

末：那我与三侄女做媒。

夫：哪一家？

末：前村刘家。

夫：叫何名字。

末：姓刘名高字志远。

夫：莫非就是我家收马的刘高。

末：正是。

夫：那我孰不肯。

外：我也不肯。

末：嫂嫂不肯倒也罢了。你也不肯。我就打死你这个人。老不死的。

夫：三叔不要如此。老身允了就是。

外：我不瞒你，我是多久就允了。

夫：你二人打伙弄琵琶，弄我这个好道家，还有一事。虽我尤（由不）得允了，

不知女儿意下如何。

末：我又有个主意。

外、夫：有何主意。

末：命刘高画堂摆画（划）扫地。三口（姑）女必定口面面觑，肯与不肯在丁玲口肉。

外、夫：此计甚好。

末：有请刘大哥。

生：三员外何事？

末：兄长明日贵客临门。我出打扫画堂。烦你为我迎客。

生：那就不敢。有事弟子服其劳。要备扫帚一用。

末：扫帚在此。明日兄长贵客临门。

外：烦你打扫地埃尘。

夫：画堂无许闲人进。

生：员外安人只恐帘内有佳人。

末、外：好个帘内有佳人。

外：请至后面待茶。

下

七出 扫地

生：[上]（曰）自恨生来悔不才，衣衫褴褛好伤怀。堂前扫地人轻贱，只为赌钱到此来。

卑人刘高。领了员外之命、打扫画堂。不免前去走走。正是“天上神仙府、人间宰相家。若要真富贵、除非帝王家。”来此已是画堂我看四壁古画，俱是颠倒乱挂。想是员外试我才学。待我收来打扫，从头再挂。

[□□□□□]

生：俺只见画堂空寂，闲人到此稀。因甚的尘埃堆积，想到是燕子衔泥，因此

上误(污)却了阶前地，待我下帚轻扫。□□灰尘飞起。〔白〕我看灰尘太重，待我将水洒扫，内面有人请了。

占：〔内，白〕请了做什么？

生：借水一盆，借盘一个。

占：〔白〕花缸有水，架上有盘，自家去拿不要惊怀我的红口。

生：那我知到。〔唱〕待我先将水洒，后扫灰尘，也免得灰尘飞起，将人眼蒙闭，我也细思知。将身出踏平步地，扫地堂前有谁知，有谁知。

旦：〔唱〕往常见灰尘满地，风吹起缠衣，今日里人来扫地，全不见半点灰尘。

占：〔白〕小姐寸金莲。

旦：〔唱〕非我寸金莲行来无踪迹。试看那人执帚，人品高奇。相他不是下流之辈。

占：小姐你道那人不是下流之辈，听我丫囊道来。〔唱〕昨日在我草地牧马，今日里又在我画堂前来扫地。试看那人身无所依，身无所依。

旦：哎，哎，丫头，休笑江湖客，其中有官家。前人创业与儿曹。后人不守枉图(徒)劳。纵有家财千万贯，不够赌博场中走一遭，走一遭。丫丫头，都只为好赌倾家，才弄得一身狼狈。〔白〕丫头我将那人好有一比。

占：好比何来。

旦：〔唱〕那人好比大鹏之鸟，三年不飞，飞上九霄。三年不鸣，鸣则惊人。丫头你也去细思知。大鹏来展冲天翅。九万鹏程终有期，终有期。

生：〔唱〕深谢大公美意，相逢携手归。〔挂画介〕

生：〔唱〕实只望另眼相看，又谁知轻贱为泥。昨日命我草场收马，今日又命我画堂前来扫地。〔白〕喂，我想看马扫地，岂是我刘高所为。待我弃帚而去。

占：〔内白〕咳咳，你这汉子吃了人家饭，穿了人家衣，画不挂，地不扫，还讲什么弃帚而去。此处倒有个孝员外，收留与你。难道前面还有个员外留与你不成。又道任君走尽天涯路，运不通时，到处难，到处难。你还要耐(细)烦。

生：倒是君子，反被小人所论。

占：难道金刚菩萨不成。

生：[唱] 哦，好个人君走尽天涯路。运不通时到处难，想当初韩侯未迁（遇），曾受人胯下凌辱。到后来弃楚归汉拜相登台。显威风显威风谁能比。自恨我身怀创业，怀创业，异日若得施为，决不效三齐王独贵。我也去细思知。蛟龙才落沙滩内，得会云上天时，上天时。

占、旦：[内白] 咳咳，你这汉子，扫地不带眼睛，扫在人家房门口来了。

生：少时闻知他家有一个红梅嫂，莫非就是她。红梅嫂卑人这厢有礼。

占：我是见不得礼的。

生：你这好人，怎么见不得礼的。

占：我打哑谜。你去猜来。

生：你就打来。

占：三分银子一箍。

生：敢则是梅香。

占：正是。

生：梅香，下次见了刘相公，要垂首相见。

占：你怕我，当真见不得礼。我家员外把小姐许配与你是假的。把奴家许配与你是真的。

生：你好丑货。

占：人貌虽丑，货有九九。多少大相公想我不到手。刘大哥听我辱你。[唱] 刘大哥，生来痴又痴。全然不受其中意。我则有你心，你还无我意。若有小红娘，我与你凑。

生：凑什么？

占：凑成一本西厢记。

生：奴婢休要逞英雄。

占：你命也与我命同。

生：千年为奴婢。

占：万载你去打。

生：打什么？

占：打长工。

生：哪个打长工？

占：刘大哥打长工。

生：我就打死你这个丫头。

占：小姐快来。

旦：你这贱人为何打他。

占：刘大哥不是个好人。瞧了我一小眼，还瞧了小姐一大眼。

旦：还不下去。

占：我就下去。

旦：我好想他。

占：我也爱他。

旦：你是怎么爱得他。

占：小姐想得他，我也爱得他。

旦：还不下去。

占：我就下去。让你一个人去想他。

旦：〔唱〕我想他不是尘埃俗子。恨爹娘有眼无珠，有如白璧染光辉。谁人不把金蟾戏。骅骝欲逞荆棘满地。蛟龙欲变风云不会。终须到有天衢日。〔尾声〕鹊桥高架银河渡，牛郎织女会有期。盼看牛郎无归期。

夫：〔白〕儿呀，有归期，□女儿带笑回去，想是允了。员外回来，就说女儿不肯。好骗三叔的媒钱。

外：正是“有意栽花花不发，无心插柳柳成荫。”

末：坐在你家不动身。

外、夫：〔白〕三弟、叔，贯（实）是做媒的。

末：好呀，你来骗我的媒钱。

外、夫：洪信回来，怕他不肯。

末：他是听得哪个的话。

外、夫：他听得张家媳妇的话。

末：我又有一个主意。命张家媳妇抛锣帐。许她青钱一束、色衣一套、耳玲一付，洪信回来要她担代。

外：此计甚好。张家媳妇哪里？

丑：[上，讲叔]忽听堂上唤声忙，云步打扮出口房。深深拜拜高堂，为愿公婆烂肚肠。

外、夫：富寿长。

丑：烂肚肠，烂肚肠。

夫：万福。

丑：叫我出来何事？

夫：三姑娘招了刘姑夫。

丑：三姑娘招了刘都督。

外、夫：刘姑夫也就够了。许你青钱一串、色衣一套、耳玲一付，洪信回来要你担代。

丑：他虽是我的丈夫，我讲的话他也不敢违拗。

外、夫：好话多讲。

丑：一块况香木，雕成一马鞍。新人来交拜。四季打牌寒。

夫：保平安。

丑：贵人去步。

[生、旦拜介][口介]

丑：先拜天地，后拜高堂。夫妻交拜，同入洞房。

[下]

[丑上吹箫，占二肩进房]主母、三姑娘今朝节日命系抛锣洒帐。

丑：看我的六谷盘来。

占：五谷盘。

丑：今年年岁丰收一盘。

占：还是五谷盘。

丑：众家姊妹，我的咽喉不好，与我帮腔。

占：帮腔。

丑：一洒风调雨顺，二洒国泰民安，三洒五男二女，四洒七子团圆。洒帐东，好个洒帐东。东边墙头一颗葱，新人不抬头，想是怕婆公。啰哩啰哩溜溜哩溜溜哩溜溜哩一么啰溜哩一么啰呵溜哩一么啰哈溜哩。

[拍节] 洒帐南，好个洒帐南，中间摆的象牙床。象牙床上铺锦被，锦被底下耍鸳鸯。[尾韵同前]

[□□] 洒帐西，好个洒帐西，新人今晚把头低。八幅罗裙高扎起，鸟鱼进洞笑嘻嘻。[尾韵同前]

[拍节] 洒帐北，好个洒帐北，牡丹开花有颜色。新人不抬头，想是生得黑。[尾韵同前]

[拍节] 洒帐上，好个洒帐上，光头和尚来告状。八字衙门大大开，哪怕一撞又一撞。[尾韵同前]

[拍节] 洒帐下，好个洒帐下，新人好比打油榨。加上一枝檀木头，哪怕一下又一下。[尾韵同前]

[大口□] 洒帐中，好个洒帐中。新人好比一把弓。加上一枝茅头箭，箭箭射在玉池中。[尾韵同前]

[拍节] 洒帐前，好个洒帐前。新人今晚把渡船。总照新人掌舵稳，哪怕狂风浪里颠。[尾韵同前]

[拍节] 洒帐后，好个洒帐后。新人下面淌水沟。一条黄鳝来汲水，两个螺丝后面丢。[尾韵同前]

(弦纽) 洒帐左，好个洒帐左。新人好比一把锁。钥匙刚刚套进去，哎哟哎哟真相当。[尾韵同前]

[拍节] 洒帐右，好个洒帐右。两个媒人被婚求。今晚好酒不劝你，明朝糍粑搭你头。[尾韵同前]

[拍节□] 洒帐已毕。

占：[肴（搖）] 万事大吉。

丑：早生贵子。

占：[肴（搖）] 状元及第。

丑：众家姊妹，到我房中去睡。

占、二肩：到我房中去睡。

丑：好，到你房里去睡。

[下]

八出 玩花

生：[上，白] 喜色艳艳似酒浓，

旦：花影重重月影重。刘郎万福。

生：三娘少礼，请坐。

旦：同坐。

生：闻知令尊新造花园，卑人欲借一观。不知三娘意下如何？

旦：不足刘郎美观。

生：休得过推。定要借观。

旦：妾身奉陪。

生：快马着一鞭。

旦：平步上青天。

生：漫道登科早。

旦：嫦娥爱少年。

生：好个嫦娥爱少年，未曾带得就来。若是带得酒来，一则观花，二则饮酒。

旦：村中有酒。袖内有钱，你去沽买。[唱] 我这里将钱，你去酤酒，借问谁家？

生：[唱] 三娘妻。你且站立柳荫中。卑人前去问童牧。[白] 童牧哥请了。

哑巴：

～哪里有酒沽？

～想是前面杏花村。

～多少路远？

～想是五里之遥。

～卖多少钱一平（瓶）？

～想是三分银子。

～你为何哑了？

～想是南山南山砍樵吃多了凉水。

～为何不请医生治调？

～想是腰中无钱。

～我这里有几钱银子把与你？

～你姓什么？

～想是吕。

～叫何名字？

～想是叫吕中口。

～那是我的娘子。

～你这够才。

旦：〔白〕刘郎牧童是个哑巴。问他则甚？

生：〔唱〕牧童虽是哑不能言，犹如白日问神仙。借问酒家何处有，牧童遥指杏花村。

旦：刘郎，前面高大房子什么所在？

生：清风市。

旦：摆来摆去是什么东西？

生：卖酒的招牌。上有字迹。一同看来。

〔同唱〕上写着。浪苑蓬莱沽美酒，醉逢归去月儿高。刘伶问道谁家有，太白回言此处高。

生：〔唱〕未曾带得酒壶来，若是带得酒壶来。我提壶你把盏与三娘，吃得个

人醉东风也嘢。

[白] 三娘哪里好玩耍？

旦：庄门外。

[同唱] 双双同往庄门外。

[吹介]

旦：[白] 刘郎，那里吹打热闹。

生：王孙公子奏乐，乐声未尽。

旦：[唱] 一出门来百花开，王孙公子奏乐来。夫妻二人同玩耍，笙箫鼓乐闹啾啾。

[同唱] 他那里乐声相送，我这里两情口（正）容（浓）。夫妻偕老琴调瑟弄，双双口（栖）过鸾和风。

生：[白] 三娘，还有哪里好玩耍？

旦：花园内。

生：一同转过花园。

[同唱] 双双同往花园内，百花开放满园红。桃红柳绿皆相似，一枝分为两朵红。玩赏桃花映水红，好朵鲜花映水红。

旦：[白] 好花，好花。

生：[白] 三娘，连叹数声好花，莫非有爱花之意。那旁有枝何不攀将下来？

旦：待我攀来。

生：花台甚高需要仔细。

旦：那我知道。[唱] 我将玉手攀花枝，此花付与刘郎手。

生：三娘，为何付与我手？

旦：难道插花人，自己插戴不成？

生：言之有理。戴起此花，你丈夫有个比方。

旦：先比后戴。

生：三娘妻，你我二八青春美，年少夫妻。千里来相会，望三娘早生麒麟子，接代刘高一宗旨。与三娘斜插。插在乌云鬓，好一似彩鸾丹凤。

旦：刘郎，又道人要成双花要成对。那旁一枝何不攀将下来？

生：待我攀来。〔唱〕我今将手攀花枝，此花付与三娘手。

旦：刘郎为何攀花付与我手？

生：男子汉不戴山花野草。

旦：戴了此花妻子有个比方。

生：先比后戴。

旦：〔唱〕哦，刘郎夫，你本是男子汉读书人。有日里登金榜。美名扬插宫花
饮御酒，妻子专将此花当宫花。与刘郎斜插，斜插在帽子毡下，好一宿似
彩鸾丹凤。夫妻偕老琴调瑟弄，双双口（栖）过鸾和风。〔尾声〕一条红
线落江中，未钓鲤鱼先钓龙。〔白〕有缘千里来相会。

〔生、旦：刘郎、三娘，同唱〕我和你百年夫妻永和同。

〔下〕

（ふくみつ・まさひろ 経営学部教授）